

向田 誠市

活動の期間	調査研究、研修、 要望・陳情の場所	活動の種類	報告書のページ
令和7年8月25日から 令和7年8月28日まで	北海道釧路市 北海道帯広市	調査研究	P 2
令和8年3月13日から 令和8年3月15日まで	岩手県陸前高田市 岩手県大船渡市	調査研究	P 5

令和7年9月22日

野々市市議会議長 安原様

(報告者)

会派名〔又は〕 無会派
 代表者〔議員名〕 向田 誠市



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和7年8月25日から 令和7年8月28日まで
視察、研修、要望 陳情の場所	釧路市総合体育館 北海道釧路市広里 18 釧路市立博物館 北海道釧路市春湖台 1-7 帯広市立総合体育館 北海道帯広市大道北 1 丁目 1-1
参加者氏名	向田 誠市
目的 (調査・視察事項)	1. 釧路市総合体育館：総合体育館整備事業の全体概要を中心に整 (湿原アリーナ釧路) 備背景や沿革を伺い、本市の中央公園拡張 整備事業に繋げる。 2. 釧路市立博物館：施設展示のための設備や展示品を中心に見 学しながら、本市のふるさと歴史館施設の 将来の在り方等を考える。 3. 帯広市総合体育館：総合体育館整備事業について、整備事業の 全体概要を中心に整備の背景や沿革を伺 い、本市の中央公園拡張整備事業に繋げ る。
調査・視察概要	・釧路市総合体育館 (湿原アリーナ釧路) 国立公園の釧路湿原の一角に位置する湿原アリーナ釧路は多くの 運動施設が集まったところにあり、駐車場も広々と確保されてい ますが北海道という感じ。アリーナはメインアリーナ、サブアリーナ とあり、驚いたのは床に引かれているラインが枠選だけで塗りつぶ されていないこと。遠目には木目の美しさが印象的。ただ、利用者 の中には判りにくいと不満を訴える声もあるとか。塗りつぶすのは費 用の面からも使用者の利便性を考えると枠線のみでも良いと思え た。寒冷地のため当然エアコンは無いが、近年は猛暑のためクーラー

の使用もある。温暖化は北の地域でも実感されている。ここの自慢は高さ 12 メーターのクライミング施設があること。他の施設では見たことがなかったので、斬新なアイデアだと感じた。ウリがあるということは多方面からの集客に繋がる大切な事である。

庄巻は、施設の最上階にある展望台から見る釧路湿原。私は確認できなかったが、野生のシカが見えたそうで、ここの場所自体が観光名所としての活用がされている。何とも羨ましいロケーションで、ここで多くの大会が開催される訳が分かる。しかし、エゾシカの繁殖が活発となり、ここ近年では、総合体育館駐車場に現れ、沢山の鹿の糞の後始末に困っておられました。自然環境には逆らえませんが、釧路湿原国立公園の維持管理においては、これからも様々な重大問題と向き合っていかなければならないことを予感する次第です。

・釧路市立博物館

博物館と一目でわかる特徴ある建築物で、独創性に富んだデザインの建築を許可した当時の担当者に、どのような思いで建築許可されたのか伺ってみたかった。玄関エントランスにあるマンモスの本物の骨格標本にも驚かされたが、エントラスは無料区間で、展示の目玉といえるマンモスをタダで公開する市側の太っ腹さにも驚いた。スタッフ 9 名も常勤で長期にわたる研究も雇用が安定しているので安心して続けていけると話されており、他の同様施設の職員に聞かせれば垂涎の的になるに違いない。

ここの博物館には、湿原(生物、植物を含む)、縄文古墳、アイヌ、捕鯨を含む漁業、熊など野生動物等など素材になるものが多岐にわたっており、キュレーターたち職員が日々切磋琢磨して展示に心込めている熱意が至る所で感じられた。小さな石器の展示からミンククジラの骨格標本に触れたり、ヒグマのはく製など大人も子供に帰って楽しめる空間が創り出されていた。本市のように展示する素材がわずかであったとしても、見せ方、活用の仕方はいろいろ研究できる余地があるのではないかと。何より職員が安心して勤務、研究できる環境整備が進まないと思え方など工夫の熱意に繋がらないのではないかと感じた。私は、本市担当課職員にこの博物館を是非視察していただき、様々な角度から勉強・研究していただき、本市の郷土資料館や遺跡資料館に活かしていただきたいと強く思うものです。

・帯広市四つ葉アリーナ十勝

北海道中東部から太平洋に注がれる一級河川の十勝川のすぐそばにある同アリーナは災害時避難施設としても活用される。イベントや大きな大会時に不足する駐車場を河川敷に利用することがあったり、またアリーナ 2 階観客席の出入り口の一部に避難時船着き場として利用できる場所が設置されていると伺いとても驚いた。また隣

接する警察署ともドアツードアともいえるような安心できる体制がとられている。名称には何といても地域で最も有名な企業の名前が付いていることから、市民にとっても馴染み深く、地域の誇れる場所といった良いイメージにつながるのではないかと。指定管理者の株式会社オカモトさんは全国のスポーツ施設の管理をされておられ専門的な「know-how」をお持ちであることから、生み出されるアイデアや対応はさすがと感じる事も多かった(地元企業の活用=自販機の内容、イベント時のキッチンカーの利用、各種運動教室の運営、等々)。ちなみに、㈱オカモトさんも元は地元出身の企業とお聞きした。大きな施設を設ける際には、行政だけで担うのではなく一般の企業にも加わっていただき、どこにでもあるものではなく特色のあるもの、何か1つ特化したものがあることが重要だと感じました。そして㈱オカモトさんのような経験値豊かな指定管理者に運営してもらえるような施設を設けなければならないと痛感し勉強して参りました。

今回の釧路市及び帯広市の調査研究・研修で実感したのは、やはり北海道という地域における広大な土地利用が可能な条件が非常に強いと思われ、これらを全て本市にフィードバックすることは困難と言うより無理ではあるが、参考にするものは沢山ある有意義な調査研究・研修でした。

令和8年3月18日

野々市市議会議長 安原 透 様

(報告者)

会派名	〔又は〕	無会派
代表者		



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令8年3月13日から 令和8年3月15日まで
視察、研修、要望 陳 情 の 場 所	第36回全国椿サミット大船渡大会
参 加 者 氏 名	向田 誠市
目 的 (調査・視察事項)	1. 陸前高田市矢作町字諏訪 18-9 社会福祉法人 大洋会 就労継続B型事業所：せせらぎ（椿油工房） 2. 東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMI メモリアル 3. 高田松原津波復興祈念公園 震災遺構①気仙中学校 震災遺構②奇跡の一本松 震災遺構③陸前高田ユースホテル 震災遺構④タビック 45（旧道の駅高田松原） 震災遺構⑤下宿定住促進住宅 4. 大船渡市盛町字下館下 18-1 大船渡市民文化会館リアスホール：第36回全国椿サミット大船渡大会 大船渡市大船渡町字茶屋前 7-8 大船渡プラザホテル：交流会 会場 5. 現地視察ツアー ① 三陸復興国立公園碁石海岸 ② 世界の椿館・碁石 ③ 大船渡の三面椿（岩手県指定天然記念物） ④ 大船渡市立博物館
調査・視察概要	1. せせらぎ（椿油工 〒029-2201 岩手県陸前高田市矢作町字諏訪 18-9

(椿油工房:せせらぎ)は、山間地に位置する就労継続B型事業所で本市との繋がりは、本市で採集した椿の実からの「椿油の採取」をお願いしている工房で、今の時期は「いちご栽培の収穫時期の最盛期」で、工房で作業されている就労者の方はおられず、米田所長のみが待機され私達の訪問受け入れをしていただきました。実際に「椿油の採取」が見れなかったのが残念でしたが、はじめて見る採取装置に感動を覚えた次第です。

2. 東日本大震災津波伝承館 いわてTSUAMI メモリアル 〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影 180

東日本大震災津波伝承館は、「命を守り、海と大地と共に生きる ～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～」をテーマに、津波により被害に遭いながらも残骸を残しつつ、広大な面積の中に、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けて復興に対する強い意志を発信するため、国と地方公共団体が連携して、復興の象徴となる「復興祈念公園」を整備し、その中心に「歴史をひもとくゾーン」「事実を知るゾーン」の二つのゾーンを備えた国営追悼・祈念施設として設置された伝承館です。実際に館の中を観覧させていただきましたが、目を背けるような映像や写真、展示物ばかりに心が痛みました。

3. 高田松原津波復興祈念公園

公園内には震災津波による震災遺構が五つあり、見るにも無残です。残された震災遺構五つについて個々の説明。

① 震災遺構：気仙中学校

生徒は直ちに高台に避難して全員無事でしたが、鉄筋コンクリート3階建ての校舎は屋上まで津波で水没しました。

② 震災遺構：奇跡の一本松

約7万本の松のなかで唯一残り、復興のシンボルとなりましたが、震災の翌年に枯死してしまい、その後はモニュメントとして保存されています。

③ 震災遺構：陸前高田ユースホステル

高田松原の中に建っていた宿泊施設で、奇跡の一本松は「この建物のおかげで津波の直撃を免れて倒木しなかったのでは」と言われています。

④ 震災遺構：タピック 45 (旧道の駅高田松原)

3名の避難者が14.5mの津波から難を逃れたこの建物は、最上部をわずかに残して水没し、内部は激しく破壊されてしまいました。

⑤ 震災遺構：下宿定住促進住宅

津波で1階から4階が完全に水没し、5階のベランダの化粧パネルだけが残り、一見して津波が到達した高さがはっきりとわかります。

以上五つの震災遺構により、震災津波の威力と恐怖をまざまざと知ることができました。

震災から15年が経過し、高田松原津波復興祈念公園の広大な面積は、国の復興予算により整備され、震災遺構を残しつつ、津波伝承館や運動公園が整備され、市民の憩いの場や観光客誘致の場となっておりますが、将来、国はこの広大な公園の維持管理をどの様におこなって行かれるかが興味津々のところです。

4. 第36回全国椿サミット大船渡大会及び交流会

大船渡市における全国椿サミットは、東日本大震災及びコロナ禍により12年ぶりの開催となり、岩手県及び大船渡市にとっては待ちに待った大会となり、大会及び交流会の企画の隅々に気持ちを伺うことができるものでした。

5. 現地視察ツアー

① 三陸復興国立公園碁石海岸

展望台からは復興国立公園及び碁石海岸の碁石峠や潮吹き岩の景色が一望でき、海岸遊歩道が整備された素晴らしい公園です。

② 世界の椿館・碁石

椿館・碁石には、世界13カ国600種の椿と四季折々の花卉を鉄骨平屋建1,367.50㎡、育成温室96.58㎡で、二つの建物では通年展示販売を行っている。

③ 大船渡の三面椿

大船渡の三面椿は、末崎町・熊野神社の境内にある樹齢およそ1,400年、地際の幹囲8㍒、樹高10㍒のヤブツバキで地際から6本の枝幹にわかれ枝張りが大きく壮大な樹形をなして毎年多数の花をつけており、神社の創建時、境内の東・西・南の三面に椿を植えたことから三面椿と呼ばれ、北緯39度付近という高緯度地帯のヤブツバキの巨木として、非常に価値が高いと言われ、岩手県の指定天然記念物となっております。

④ 大船渡市立博物館

「大船渡 その海と大地」を常設展示総合テーマとして、館内にはシアター・地質展示室・考古民俗展示室・たいけんコーナーに特別展示室・多目的ホールが設けられた博物館となっており、この博物館でも東日本大震災の震災津波のもの凄さを目の当たりにしました。

6. 今回の第36回全国椿サミット大船渡大会の総評

今回の椿サミットでは、大船渡市が12年ぶりに開催される椿サミットに対する思いが、企画内容をはじめとする全てにおいて、大船渡市実行委員会の思いが溢れているものと成っております。

私は、大船渡市を含めた東日本大震災による復旧・復興が15年経過

	した今日、どのようになっているかを確かめる事が重点目標であったが、昨年の大船渡の山火事により、震災津波により住宅被害に遭われ、山間地に新築された12軒の住宅が今回の山火事により焼失したとお聞きし、胸が裂ける思いをしています。これから更なる復旧・復興により震災前の生活を早く取り戻して頂かんことを切に願うものです。
--	---